

# 全国の中規模工場のDX課題を解決する 「DX工場」オープン

---

広島工業大学と共同で  
マスカスタマイゼーションの実証実験を開始



# 会社概要



## ◆概要

会社名 東洋電装株式会社  
代表者名 桑原 弘明  
設立 昭和48年12月20日  
資本金 10,150,000 円  
事業内容 制御盤製作及びシステム開発  
従業員数 90 名  
本社 広島市安佐南区緑井  
拠点 広島・神戸（兵庫）・東京

## ◆沿革

昭和48年 広島市西区己斐中に「東洋電装株式会社」を  
資本金300万円で設立、創業開始。  
昭和50年 事業発展により資本金を460万円に増資。  
昭和54年 広島市安佐南区西原に自社工場新設、本社移転。  
平成08年 資本金1,015万円に増資。  
平成15年 広島市安佐南区緑井に自社工場移設。本社移転。  
平成21年 ISO9001 取得  
平成25年 東京office 開設  
平成26年 神戸office 開設  
平成27年 バロ電機工業（株）をM&A  
平成28年 ISO14001 取得  
**平成29年 地域未来牽引企業に選定される**  
平成30年 （株）TD衛星通信システム を設立  
平成30年 広島県働き方改革実践企業に認定  
令和01年 （株）まもる一の を設立  
令和03年 （株）まもる一の を（株）ZIPCAREに社名変更  
令和03年 （株）TD Holdings を設立

## ◆子会社

バロ電機工業株式会社  
株式会社TD衛星通信システム  
株式会社ZIPCARE



# 事業紹介

## 制御盤事業

広い分野に対応した制御盤を製造。

官公庁などのダムや水道局・発電所、工場等の事例多く、高い技術力に加え、信頼と実績があります。自社で開発～設計、製造、保守までの一貫対応ができます。



## 空調システム事

ビル空調及び産業用空調分野の制御盤及びシステム開発

空調業界ならではのノウハウを生かしながら、小回りの利く対応で多くの病院・大学・商業施設などに導入実績があります。



## FA事業(バロ電機工業)

『工場の自動化』など、産業機械装置や制御を提供

設計製作から設置、試運転など、お客様の工場それぞれに合わせた形を提案するべく、全て自社で一貫対応しています。



## 衛星通信事業(TD衛星通信システム)

災害などの非常時でも利用可能な衛星ブロードバンド。

繋がらない場所や状況でも繋げる回線であることを生かし、企業BCP対策やデジタルデバインドエリアの通信として利用されています。



## 高速道路システム事業

高速道路の安全を支えるシステムや製品を作ります

路側情報伝送装置『ERICE』やサービスエリアの満空表示システムなどの製品を取り扱っています。



## IoTシステム事業(TDX)

『最新のIoT技術』を使ってご提案・解決いたします。

RFIDを利用した工具管理システム、LPWAの通信技術を取り入れた貯水池遠隔通報システムなど、枠にとられない幅広い範囲をカバー。



## 介護医療システム(ZIPCARE)

高齢者の見守りを支援する、睡眠見守りセンサーを軸としたシステム開発と提案

「全ての人に最良で最適な介護を」誰もがデータを持ち歩けるよう、施設と在宅のシームレス化目指し、介護IoTのプラットフォームを築きます。



# 東洋電装 可部事業所「DX工場」について



## DX 推進拠点

- ・ 東洋電装グループ製品・サービスのテストフィールド・ショールーム
- ・ アライアンスパートナー企業の製品・サービスのテストフィールド・ショールーム
- ・ 制御盤生産の DX 研究開発フィールド

# 東洋電装 可部事業所「DX工場」について

## DX化（未知への挑戦）

IoT・ビッグデータ・AIにより新規ビジネスの創出

マスカスタマイゼーション

デジタルツイン

9



12



エコシステム

ブロックチェーン

Society5.0

## システム化（業務効率）

既存業務の変革

RPA

生産管理システム

RFID



## デジタル化（生産性向上）

アナログからの脱却

情報セキュリティ

実証実験

課題抽出



## DXビジョン

エンジニア一人一人が  
イノベーションを創出  
出来る場所へ

「最大多様の最大幸福へ」

## 東洋電装企業理念

- 社会インフラに最高の技術的イノベーションを
- エンジニアが一生で最高の仕事ができる場所へ



# 製造現場 DX



# オフィス DX



# 広島発→日本製造業の優位性を進化→世界と戦う

中小規模製造業 DX ロールモデル



可部事業所



FRICS Fab~DX ファクトリー

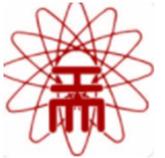


社会課題

中小規模製造業DX取組の遅れ



学校法人鶴学園  
広島工業大学 情報学部 教授  
濱崎利彦



1984年広島大学大学院工学研究科材料工学専攻・博士課程終了後、東芝総合研究所 VLSI 研究所を経て、1991年～2001年 Burr Brown Inc.（本州アリゾナ州）及び2001年～2010年Texas Instruments Inc.（本州テキサス州）の日本法人において開発本部長、テクノロジーセンター長を歴任。

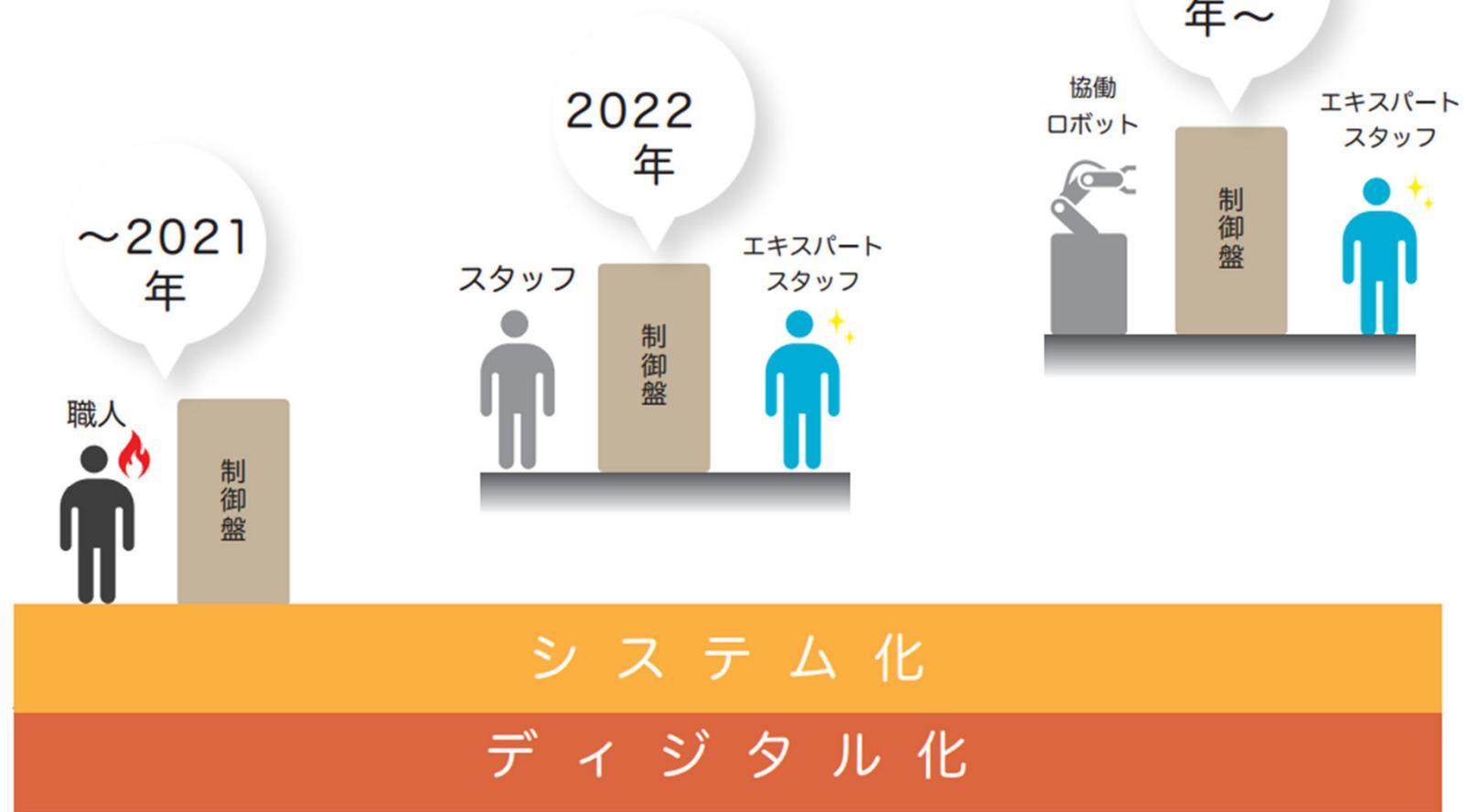
2010年より鶴学園 広島工業大学情報学部教授、IoT技術研究センター長（2018年設置）としてグローバルな視点から「ものづくり」を担うエンジニアの教育と指導に取り組む。

博士（工学）、メイドイン広島IoT協議会顧問

IEEE・電子情報通信学会シニア会員



# 中小規模製造業 DX ロールモデル



# 中小製造業の工場のDX課題を解決する 「DX工場」 22年2月17日オープン



記者発表会開催 2月17日（木）10:00～

